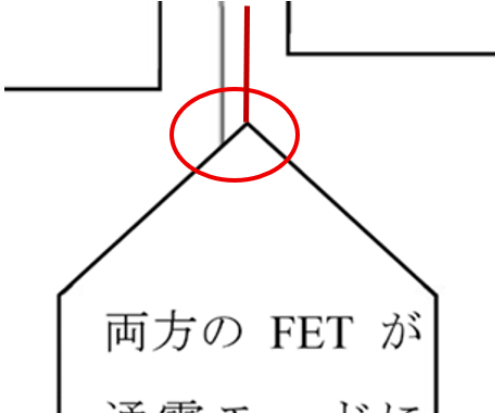
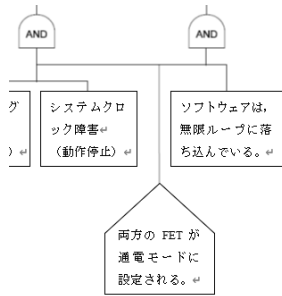


| 委員 名* | 行番号 (e.g. 17) | 箇条/ 細分箇 条* (e.g. 3.1) | 段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1) | コメント タイプ* | コメント* | 修正案 | 検討結果・対応案 |
|----------|------------------|-----------------------------|-------------------------|--------------|---|--|---|
| 加藤 | 718 | A.5.2.1 | 第 2 段落 | | 説明文のように読める。説明文ではないのなら、他の個所と合わせる | 判定される → 判定する | 「判定する」に修正します。 |
| 西原 | 807 | | | | 図 B.1ー故障の木図の例の図の線がずれている ・図の線がずれてる ↵  | | 線がずれないように、図を修正いたします。  |
| 山野 | 189 | 4 | | ed | 「通常の使用では、使用者及び周囲に危険を及ぼすことなく動作するよう、設計及び構築しなければならない」 「通常の使用では」が“危険”にかかるのか？ あるいは“動作”にかかるのか？ はっきりとしません。IEC 原文も相当に複雑ですが。 また、“構築”は“組み立てる”ということではないでしょうか？ | 以下に一例を示させていただきますが、わかりやすい表現が他にあれば特にこだわりません。； 「使用者及び周囲に危険を及ぼすことなく通常の使用で動作するように、設計及び組立てを行わなければならない。」 | 「ソフトウェアを“組み立てる”」よりは、「“構築”する」の方が表現として適切と考えます。 上記を踏まえ、次のとおり に修正いたします。 「使用者及び周囲に危険を及ぼすことなく通常の使用で動作するように、設計及び構築を行わなければならない。」 |

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

| | | |
|-----|---------------------|---------|
| 日付: | 規格番号: C62733 | プロジェクト: |
|-----|---------------------|---------|

| 委員名* | 行番号 (e.g. 17) | 箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1) | 段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1) | コメント タイプ* | コメント* | 修正案 | 検討結果・対応案 |
|------|------------------|-------------------------|-------------------------|--------------|---|--|-----------------------------------|
| 山野 | 192 - 193 | 4 | | ed | 「リスクアセスメントによって・・・リスクをもつことが示されるならば、」 文章が複雑で読者は理解に苦勞することが予想されます。これも IEC 原文が複雑です。 | 以下に一例を示させていただきますが、わかりやすい表現が他にあれば特にこだわりません。； 「制御装置が危険な状況になることを防ぐために組み込むソフトウェアが、リスクアセスメントによって許容可能なレベルを超えるリスクを持つと特定されるなら、」 | 修正案に変更いたします。 |
| 山野 | 194 | 4 | | ed | 「リスクアセスメントの中心は、・・・」 読者が意味を読み取れない可能性があります。 | 以下に一例を示させていただきます。； 「リスクアセスメントの対象は、・・・」 | 修正案に変更いたします。 |
| 山野 | 198 | 5.1 | | ed | 「制御装置に起こり得るリスクは、リスクアセスメントの焦点でなければならない。」 わかりにくい表現だと感じました。 | 以下に一例を示させていただきます。； 「制御装置に起こり得るリスクが、リスクアセスメントの対象でなければならない。」 | 修正案に変更いたします。 |
| 山野 | 205 | 5.1 | | ed | 「リスクアセスメントによって、リスクが許容可能であることを示せば、・・・」 わかりにくい表現だと感じました。 | 以下に一例を示させていただきますが、わかりやすい他表現があれば特にこだわりません。； 「リスクアセスメントによって、リスクが許容可能であると示せば、・・・」 | 修正案に変更いたします。 |
| 若月 | 173 | | 注釈 1 | | 通常は治癒が可能で、病院での手当を通常必要としない | 「通常」が短い文の中で2度でてくるので、どちらかを省いてもよいのではないかと思います。が如何でしょうか？厳密に表現するために繰り返されているのかとも思いましたが、少々気になりましたので、コメントしました。 | 「治癒が可能で、病院での手当を通常必要としない」に修正いたします。 |

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

| 委員 名* | 行番号 (e.g. 17) | 箇条/ 細分箇 条* (e.g. 3.1) | 段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1) | コメント タイプ* | コメント* | 修正案 | 検討結果・対応案 |
|----------|------------------|-----------------------------|-------------------------|--------------|--|-----|---|
| 加藤 | 116 | K.1 | 一つ目 | | HLD について説明 素案の追補にも、JISB8103:2022 にも特に説明の記載がなさそうだが、不要か | | 図 K.1 中に $E_{1s} = gH_{1s}$ （追補による修正後は $E_{1D} = gH_{1D}$ となる）と記載されており、規格利用者には H_{LD} は比エネルギー損失を重力加速度で除したものであることが判別可能であることから、説明の記載などの修正は不要と判断致します。 |
| 加藤 | 176 | 附属書 JF | E.1、E.2.2 | | “Annex D を JSME S008 を盛り込んだ換算法（附属書 D）とした。” とあるが、本文中の置き換えは “E.2.2（制約）の c)の“IEC 60193”を，“附属書 D”に置き換える。” だけであり、JSME S008 については、附属書 E に盛り込んだのか、附属書 D に盛り込んだのか、分かり辛い。附属書 D の話なのか、附属書 E の話なのか、どちらか分かるようにする | | 附属書 D：対応国際規格 (IEC60193)による換算法を記載 附属書 JA：JSME S008 の考え方に基づく日本独自の換算法についての記載であることを踏まえ、附属書 JF の記載を下記の通り修正する提案を致します。 <u>本文記載の修正：</u> “この規格では反動水車の性能換算法として、IEC 60193 の換算法（附属書 D に記載）に加え、附属書 JA を追加している。E.1 では IEC 60193 の換算法について述べているため、附属書 D と記載することとした。” |

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレート

| | | |
|-----|----------------------|---------|
| 日付: | 規格番号: C1910-1 | プロジェクト: |
|-----|----------------------|---------|

| 委員名* | 行番号 (e.g. 17) | 箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1) | 段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1) | コメント タイプ* | コメント* | 修正案 | 検討結果・対応案 |
|------|-------------------|-------------------------|-------------------------|--------------|---|--------------|---|
| 加藤 | 415 | 5.9.1 a) | 注記 4 | | 電界の説明をしている項目だが、磁界計でよいか？ | 磁界計 → 電界計 ？ | ← 磁界計に対する電界のイミュニティということ？ はい、ご指摘のとおり、磁界計に対する電界のイミュニティの箇所となります。 |
| 加藤 | 799 800 804 | A.2.2 図 A.10 | 第 1 段落 図の説明 | | 抵抗値と抵抗器を明確にする（本文 3 か所、図 2 か所の計 5 か所） | 抵抗 → 抵抗器 | ご指摘ありがとうございます。いずれもご指摘のとおり、「抵抗」を「抵抗器」に置き換えます。 |
| 加藤 | 823 | 表 B.1 | | | 試験装置の安定性（BLX）の不確かさの値欄 BL3 などのように “0” の記載は不要か？ | 空欄 → 0 | ご指摘のとおりですので、空欄を“0”に置き換えます。 |
| 本吉 | 451 | 5.9.2 c) | | ge | 同一行内に 1 000MHz という表記と 1 GHz という表記があるのでどちらかに統一すべきではないか。 | 1 GHz に修正する。 | 1 GHz に修正します。 |
| 本吉 | 455 | 5.9.2 c) | | ge | 上記に合わせ 1 000MHz の表記はどちらかに統一すべきではないか | 1 GHz に修正する。 | 1 GHz に修正します。 |
| 西原 | 176 | | | | 接地式電界計の説明文（ご提案） 「地表面又は地表面近くの電界を測定する測定器で、絶縁した電極と大地との間の誘導電流又は電荷の振動を測定するものが多い」の方が分かりやすいと思います。 | | ご指摘ありがとうございます。JIS Z 8301 の規定「定義は、できる限り、規格中の当該用語に置き換えることが可能な句の形式で記載し」に従って、以下のように修正いたします。 「多くの場合、絶縁した電極と大地との間の誘導電流又は電荷の振動を測定する測定器であって、地表面又は地表面近くの電界を測定する測定器」 |
| 西原 | 229 | | | | 注釈 1 はいらないのでは？（ご提案） 用語として掲載しているからには不要だと思います。 | | ご指摘ありがとうございます。本箇所、「電界」だけではなく、「磁界」にも適用可能であることを記したく、原案のとおりでお願いできればと思います。 |

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレート

| | | |
|-----|----------------------|---------|
| 日付: | 規格番号: C1910-1 | プロジェクト: |
|-----|----------------------|---------|

| 委員名* | 行番号 (e.g. 17) | 箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1) | 段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1) | コメント タイプ* | コメント* | 修正案 | 検討結果・対応案 |
|------|------------------|-------------------------|-------------------------|--------------|--|---|---|
| 西原 | 235 | | | | 文章が分かりにくいので以下のように（ご提案） ・・・例えば、磁界又は電界発生源と測定点との間距離としたとき、・・・ ⇒例えば、 1 は磁界又は電界発生源と測定点との間の距離としたとき、・・・ | | ご指摘ありがとうございます。以下のように修正いたします。「fは磁界又は電界の周波数、cは光速、lは測定空間の特徴的な寸法（例えば、磁界又は電界発生源と測定点との間の距離）としたとき、 $f \ll c/l$ （すなわち、波長 $\gg l$ ）になる条件を満足する磁界又は電界」 |
| 山野 | 176 | 3.1.7 | | ed | 「誘導電流又は電荷の振動を測定するものが多い。」 “電荷の振動を測定する”→聞き慣れない表現です。 | 例えば、「誘導電流又は電荷の周期的な変動に起因した電流を測定するものが多い。」のように読者がイメージしやすい表現にしてください。 | ご指摘の通り「誘導電流又は電荷の周期的な変動に起因した電流を測定するものが多い。」に修正します。 |
| 山野 | 341 | 5.4 | | ed | 「・・・，公称周波数応答は，自動的に補正することが望ましい。」 この文章のままだと，公称周波数応答は 何を補正するのか？ と質問したくなる文章となってしまう。ここでは「補正される」と受け身の方が文意が伝わりやすいのではないのでしょうか？ | 「・・・，公称周波数応答は，自動的に補正することが望ましい。」→「・・・，公称周波数応答は，自動的に補正されることが望ましい。」の方がわかりやすいと思います。 | ご指摘の通りですので，「・・・，公称周波数応答は，自動的に補正されることが望ましい。」に修正します。 |
| 山野 | 528 - 529 | 6.2.3 | | ed | 「高周波成分が校正結果に及ぼす影響が無視できることを検証することが望ましい。」 “が”が多すぎて、文章が読みづらいです。 | 例えば、「校正結果に及ぼす高周波成分の影響が無視できることを検証できることが望ましい。」 | 文末が「 should be demonstrated 」ですので，ご指摘を踏まえまして，「校正結果に及ぼす高調波成分の影響が無視できることを検証することが望ましい。」に修正します。 |
| 若月 | 154 | | 注釈 1 | ge | 電界計・磁界計は，通常，三つの部分から構成している。 | ～三つの部分から構成されている。 | 修正案の通り，「三つの部分から構成されている」に修正いたします。 |
| 若月 | 160 | | 注釈 1 | ge | プローブは，一つ以上のセンサで構成している。 | ～一つ以上のセンサで構成されている。 | 修正案の通り，「一つ以上のセンサで構成されている」に修正いたします。 |

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

| 委員名* | 行番号 (e.g. 17) | 箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1) | 段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1) | コメント タイプ* | コメント* | 修正案 | 検討結果・対応案 |
|--|------------------|-------------------------|-------------------------|--------------|---|----------------------|--|
| 加藤 | 182 | 図 1 | 注記 | | “図中の端子 A 及び B” とあるが、図中に端子 A、端子 B の記載がないが、不要か | 図 1 に端子 A、端子 B を記載する | ご指摘のとおりです。図内に A、B を追記いたします（下図参照）。 |
| <div><p>< 現行 JIS ></p><p>The diagram illustrates a test setup for an EUT. The EUT is represented by a shaded box with internal arrows indicating current flow. It is connected to a common mode impedance Z_{ce}, which is modeled as a series combination of a $100\ \Omega$ resistor and a $50\ \Omega$ resistor. The input voltage to this network is U_0 from a test generator. The current flowing into the EUT is I_{com}. The diagram also shows the common mode voltage U_{com} and the common mode current J_{com}. The test generator is connected to the $50\ \Omega$ resistor, and the output voltage is U_0. The diagram is labeled IEC.</p></div> | | | | | | | |
| 加藤 | 271～ | 6.2.2.1 | 表 4 | | 用いる CDN の種類欄 附属書 D に追加されている図 D.1A、図 D.1B についても、参照として追記してはどうか（無遮蔽平衡線路の欄？） | | 図 D.1A 及び図 D.1B の配置を図 2 の後に移動して、図 D.2A 及び図 D.2B として、電源の列の参照に追記いたします。 |

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレート

| | | |
|-----|-------------------------|---------|
| 日付: | 規格番号: C61000-4-6 | プロジェクト: |
|-----|-------------------------|---------|

| 委員名* | 行番号 (e.g. 17) | 箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1) | 段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1) | コメント タイプ* | コメント* | 修正案 | 検討結果・対応案 |
|------|------------------|-------------------------|-------------------------|--------------|---|----------------------------------|---|
| 加藤 | 507-510 | 図 17A | | | 図の下の記事にも側線が架かっているが、側線は図 17A だけに架かると考えてよい？ | | ご指摘のとおり、側線は図 17A だけに架かります。側線の配置を修正いたします。 |
| 加藤 | 981 | D.1 | 第 5 段落 | | ここに図 D.1A と図 D.1B を含める必要はないか？ | 図 D.2～図 D.7 に → 図 D.1A～図 D.7 に | ご指摘の通り、図 D.1A と図 D.1B を含める必要があります。 このため、本文の記載はそのままとして、図 D.1A 及び図 D.1B の配置を図 2 の後に移動して、図 D.2A 及び図 D.2B いたします。 |
| 加藤 | 990 | D.1 | 警告 | | ここに図 D.1A と図 D.1B を含める必要はないか？ | 図 D.2～図 D.7 参照 → 図 D.1A～図 D.7 参照 | 同上 |
| 加藤 | 1002 | 図 D.1A | 図中 | | 図 D.1A だけ中の入力ポート内が↑になっているが、これでよいか？（附属書 D の他の図は■になっている） <div data-bbox="743 896 1146 1088" data-label="Diagram"> </div> | | ご指摘の通りですので、他の図と同じ様式に変更させていただきます。 |
| 加藤 | 1159 | 表 G.1 | δ SETUP の欄 | | δ SETUP の U(xi)の値 0.4 と u(xi)の値 0.35 除数が 1 なので、同じ値になるのでは？ | U(xi)の値 0.4 → 0.35 | ご指摘の通りですので、修正案のとおり反映させていただきます。 |

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレート

| | | |
|-----|-------------------------|---------|
| 日付: | 規格番号: C61000-4-6 | プロジェクト: |
|-----|-------------------------|---------|

| 委員名* | 行番号 (e.g. 17) | 箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1) | 段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1) | コメント タイプ* | コメント* | 修正案 | 検討結果・対応案 |
|------|-------------------------|--------------------------|-------------------------|--------------|--|-------------------------|--|
| 加藤 | 1159 1238 | 表 G.1 表 G.3 | 拡張不確かさの値 | | U(xi)から四捨五入せずに計算すれば、1.27 になり、正しいのだが、表に記載の合成不確かさ 0.63 から計算すると 1.26 になり、違和感がある | ? | 不確かさの算出に際しエクセル表を使用し、ご指摘の箇所に限らず、四捨五入するタイミングによって計算がずれる場合があります。そのため、次の注記を追加いたします。 1141 行の下 注記 ただし、不確かさの算出に際して、計算値の小数点以下 3 桁目を丸めている。 |
| 加藤 | 1287 | 表 G.6 | $\Sigma u_i(y)^2$ の値 | | $u_i(y)^2$ の欄の値を合計すると 2.73 になる (U(xi)から四捨五入せずに計算すると、2.726 で、こちらにも小数点第 3 位を四捨五入すると 2.73) | 2.72 → 2.73 ? | エクセルの計算結果の小数点以下 3 桁目を丸めています。上記コメント参照。 |
| 加藤 | 1328 | 表 G.8 | 拡張不確かさの欄 | | k = 2 の “2” だけ下の段にあり、k = dB に見える。 <div> 拡張不確かさ $U(y)=u(y) \times k$, $k=$ dB 2 </div> | 2 の位置を調整する | k=2 が同一の行となるように修正いたします。 |
| 加藤 | 1388 | H.2 | 式(H.1) | | 右辺第 2 項、第 3 項の v の添え字 “i” (小文字アイ) は、式(H.3)、式(H.4)の左辺から考えると、“1” (数字のいち) ではないのか？ | $v_i \rightarrow v_1$? | 原文の誤りです。ご指摘のとおりですので、修正案のとおり反映させていただきます。 |
| 加藤 | 1578- 1592 (1596) | J.4.2.4 (J.4.2.5) | (第 1 段落) | | J.4.2.5 の第 1 段落で “J.4.2.4 の基準を満たす場合” とあるが、明確に基準が記載されていない。これは、1591 行目から、 $6\text{dB} \leq L_{cs} \leq 10\text{dB}$ と考えてよいか | | ご推察のとおりです。 |

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

| | | |
|-----|-------------------------|---------|
| 日付: | 規格番号: C61000-4-6 | プロジェクト: |
|-----|-------------------------|---------|

| 委員名* | 行番号 (e.g. 17) | 箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1) | 段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1) | コメント タイプ* | コメント* | 修正案 | 検討結果・対応案 |
|------|------------------|-------------------------|-------------------------|--------------|--|--|--|
| 西原 | 115 | | | | (質問) 「電流注入クランプ」について C61000-4-6:2017 では「電流クランプ」と表示されているようですが、変更でしょうか。「電流注入クランプ」の方が正確とは思いますが、確認です。 | | 「電流クランプ」は、信号を印可する用途とも、信号を測定する用途ともとれます。そのため、注入に用いるほうを「電流注入クランプ」に、電流を測定するほうを「電流プローブ」に統一いたしました。 |
| 山野 | 150 | 3.11 | | ed | 英略語"e.m.f."は、用語及び定義に挙げられている他の英訳語と書式をそろえた方が良い。IEC の原文も"e.m.f."となっているが、他の英略語とのバランスを考慮すると"EMF"としてしまった方が良いと思います。 | "e.m.f."を"EMF"に変更する。 | IEC 規格及び現行 JIS の規定の略語として市場でも使用されている表現であり、変更すると可読性を下げる可能性もあるため、e.m.f. のままとできればと思います。 |
| 山野 | 164 | 4 | | ed | 「感受性のある装置は自身を"通り抜ける"電流にさら(曝)される。」 "感受性のある装置"を具体的に表現した方がわかりやすいと思います。 | "感受性のある装置"を"電磁妨害に敏感な装置"に変更してはいかがでしょうか？ | 修正案のとおり反映いたします。 |

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。